呼吸器外科プログラム

【研修目標、到達目標】

本研修の目標は、本学の基本方針である「人間性豊かな、優れた医療人の育成」に沿って良き呼吸器外科医を育成する事です。到達目標は、日本外科学会専門医の修得、さらに将来的には呼吸器外科専門医の修得です。当院は、日本外科学会認定施設、日本呼吸器外科学会基幹施設であり、呼吸器外科手術においては、年間約３５０例の手術件数に達する日本有数の施設です。特に悪性胸膜中皮腫の手術は治療の質・症例数とも我が国の指導的立場で、複数のオールジャパンの多施設臨床試験を主催中です。また胸腔鏡を主とする内視鏡下手術は全体の７０％程度を占め、ハイビジョン内視鏡、3D内視鏡システムを導入しています。３年間の研修中に外科専門医・呼吸器外科専門医に必要な症例数・内容の充足はもちろんのこと、呼吸器外科医専攻医としてより高い目標を持って症例経験を積む事が可能です。

【後期研修（卒後３年目から５年目)】

卒後３年目から５年目までの３年間を後期研修期間として位置づけ、専攻診療科を確定すると、呼吸器外科専攻医となる。

このうち、３年目（レジデントA）は病院長直轄であるが、実際は呼吸器外科診療部長（長谷川教授）が管理委託・研修を行う。

【レジデントＡ（卒後３年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、麻酔科・疼痛制御科、心臓血管外科、ＩＣＵ、感染制御部のいずれかで、希望により３ヶ月間研修を行うことができます。

【カンファレンス、症例検討会等】

がん拠点病院としての呼吸器腫瘍評議会（呼吸器合同カンファレンス）を毎週開催、呼吸器に関する内科・外科・放射線科・病理学・看護の多面的な検討を行っています。他に、術前検討会、術後検討会、病棟回診を定期的に行います。臨床研究および大学院生含めた基礎的研究について、リサーチカンファレンスの定期開催、学会発表・論文執筆の個別検討会も随時行っています。

【その他研修要件、関係学会の内容等】

１．日本外科学会専門医修練カリキュラムの最低必要症例を充足できなかった場合は協議の上、追加研修が必要です。

２．将来の呼吸器外科専門医の修得には、日本外科学会専門医の修得が必修です。さらに手術経験、研究業績、日本胸部外科学会·日本呼吸器外科学会、会員歴により書類審査され、さらに筆記試験合格が必要です。

３．外科専門医修得のためには、研修に際して日本外科学会への入会および修練開始登録が必要です。ただし、初期研修満了後６ヶ月以内に修練開始登録した場合、研修開始まで遡って登録できます。

【学会発表・論文投稿へのサポート】

経験した臨床症例を深く理解するために、日本外科学会専門医取得のために、さらに自分のキャリア形成のためにも学会発表や論文執筆は必須です。テーマや症例の決定、学会発表・論文作成に

対して総合的に指導します。

【大学院進学及び留学について】

大学院進学を奨めています。研修と平行して夜間大学院で勉強することも可能です。

学位取得後、希望者には海外・国内留学も薦めます。これまでに、University of California, Davis (California, USA)、Massachusetts General Hospital (Boston, USA)、Brigham and Women’s Hospital (Boston, USA)、MD Anderson Cancer Center、UCLA、国立がんセンター東病院（柏市）への留学がありました。

【関連病院】

下記の施設は呼吸器外科専門医に必要な症例登録が可能です。

市立伊丹病院　呼吸器外科　（日本呼吸器外科学会関連施設）

済生会兵庫県病院　呼吸器外科　（日本呼吸器外科学会関連施設）

【指導医】

指導責任者

呼吸器外科主任教授：長谷川誠紀（日本外科学会指導医、日本胸部外科学会指導医、日本呼吸器外科学会指導医、日本呼吸器外科学会胸腔鏡インストラクター）

【研修統括者】

講師：松本成司

【問い合わせ先】

長谷川誠紀

TEL：0798-45-6885　FAX：0798-45-6897　mail: hasegawa@hyo-med.ac.jp

ホームページ：http://www.hyo-med.ac.jp/department/tsrg/